

小児がんへの理解を呼びかけるイメージカラーの金色に
ライトアップされた県庁。5日午後6時半すぎ、徳島市



小児がん患者を応援

県庁 金色にライトアップ

9月の「世界小児がん啓発月間」に合わせて闘病中の子どもたちを応援しようと、県庁で5日、小児がん支援のイメージカラーである金色のライトアップが始まった。11日まで。

午後6時半、正面玄関前に設置したLED投光器4基を点灯。ライトアップを呼びかけた県内有志の「スマイルアクションinとくしま実行委員会」メンバーと県職員ら17人が、子どもたちが治療を受けている徳島大学病院などの方角に向かってライトを振り、エールを送った。毎日午後10時まで点灯する。

実行委会長で乳がんサバイバー（経験者）の宮崎宏美さん（52）＝徳島市富田橋8、青果仲卸業＝は「周囲の励ましが私の闘病生活を支えてくれたので、今度は私が応援する番。支援につながるようになればうれしい」と話した。

実行委は県内で昨年からはライトアップを始めた。趣旨に賛同する10事業所が参加し、今年は新たに徳島大学病院や県立中央病院、徳島中央公園の鷲の門でも行われている。（谷利彦）